

産官学の フューチャープラン

宮城県

第7回

NTKセラテックが半
導体用途で市場参入した
のが、設立とほぼ同時期
の1980年代。日本が
DRAMで世界市場を席
巻したときと重なる。当
時はウェットエッチング
用ウエハーチャックで、
最新鋭の半導体製造に貢
献した。

NTKセラテック

リソ用真空チャックを展開

ピン径50μmも対応可能

ソグラフィ分野で需要
を拡大。一方の静電チャ
ックはエッチング装置や
CVD装置など、腐食性
ガスを使用するチャンバ
ー雰囲気ガスメーン市場に
なるからである。

対し、NTKセラテック
は高品質、高付加価値製
品で対抗する。

半導体製造用の真空チ
ャックで躍進を続けるNT
Kセラテックだが、セ
ラミックス加工技術の応
用により、次なる事業の
擁立に向けて動き出し
た。

製造プロセスが7nm
から5nmに向けて進化
を続けるなか、顧客が寄
せるウエハーチャックへ
の要求ニーズも、これま

セラミックスは扱いに
くい素材である。焼結す
ると縮む、あるいは破損
を誘発するだけでなく、
天候の変化にも反応し製
品ごとに機差を起す。

まず、第2の柱として
セラミックス溶射技術の
開発を推進している。耐
摩耗、耐腐食、耐アラス
マ性など、目的に合わせ
た材質選択とセラミック
基材、最終洗浄までの一
貫生産体制を強みとす
る。同社の次なる事業の
柱として今後、さらなる
飛躍が期待できる。第3
の柱としては、LED用
蛍光体プレート「フォス
セラ」がある。これは蛍
光体にセラミックスを混
入させたもので、高輝度
LED照明をターゲット
市場とする。自動車のハ
イビーム照明用途に最適

で以上にハー
ドルが高くな
りつつある。

これらの難点を完全排除
するのが、同社の高付加
価値品。アジア勢の製品
とは一線を画
す。それは
「材料設計か
ら焼結技術、
洗浄エリアと分析エリ
アは互いにリンク。チャ
ック1枚ずつの徹底洗浄
とともに、表面の洗浄度
はppmオーダーの10
00分の1以下で確認す
る。精密研磨エリアでは
日本特殊陶業製の静電チ
ャックをサポートする。

精密研磨と分析
エリアも併せ持ち、出荷
前の徹底した枚葉洗浄を
担う。
地上2階建てで、延べ
床面積にして約4500
㎡の規模を持つ。1階が
洗浄エリアで、クリーン
度10000(実力1000
相当)のクリーンルーム
仕様で構築。2階は精密
研磨エリアとクリーンア
リアによる分析エリアで
構成されている。

引所第一部に株式を上
場。15年には親会社によ
る株式譲渡に伴い、日本
特殊陶業(株)のグループ会
社になり、翌16年に現社
名に変更した。

現在、同社のみならず、
親会社もウエハーチャッ
ク事業を展開。NTKセ
ラテックが真空チャック
を手がけるのに対し、日
本特殊陶業は静電チャッ
クを提供する。

親子で競合にならない
のは、真空チャックはリ
ソ用ウエハーチャックで、
最新鋭の半導体製造に貢
献した。

松下晋司記者

118
(株)NTKセラテック
(仙台市泉区明通3-24
1、022-378
-9231)は、7月で
創立30周年を迎えた。元



鈴木隆博氏

同社30年の社歴のなか
で、長年にわたり培って
きたセラミックス加工技
術。事業の柱として、同社
の業績を牽引するのが、
半導体製造用ウエハーチ
ャックである。

親子で競合にならない
のは、真空チャックはリ
ソ用ウエハーチャックで、
最新鋭の半導体製造に貢
献した。

欲に挑戦する。それが今
年4月に竣工した第3棟
顧客への出荷まで担って

松下晋司記者